

京都府漁海況情報

京都府農林水産技術センター海洋センター 研究部

<https://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>

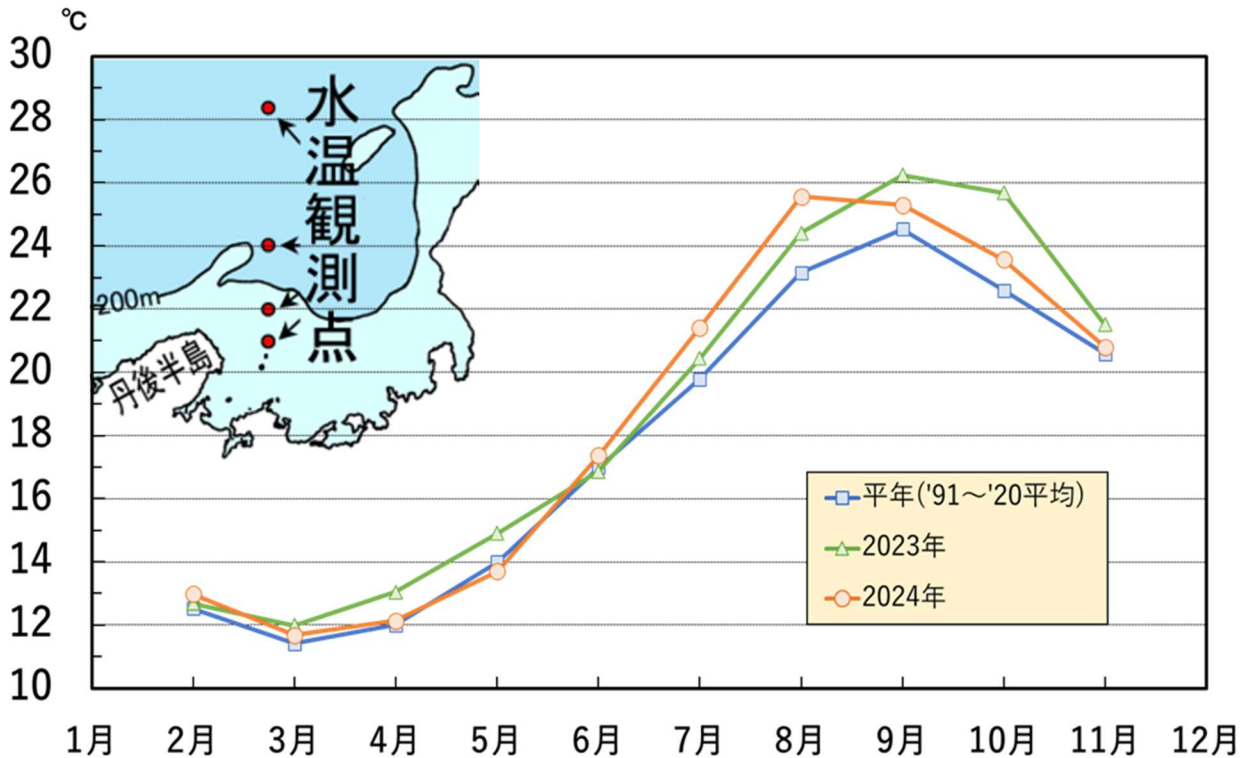
電話:0772-25-3078 FAX:0772-25-1532



海の状況 ～2024年1月から12月まで～

表層水温は、3月から6月は平年並み、7月と8月ははなはだ高め、9月は平年並み、10月はやや高め、11月は平年並みで推移した。

京都府沖の表層水温（0～50 m 深平均）



単位：℃	水温	平年差	評定
1月	観測なし		
2月	13.0	データ過少につき評定なし	
3月	11.7	+0.3	平年並み
4月	12.1	+0.1	平年並み
5月	13.7	-0.3	平年並み
6月	17.4	+0.4	平年並み
7月	21.4	+1.6	はなはだ高め
8月	25.6	+2.5	はなはだ高め
9月	25.3	+0.8	平年並み
10月	23.6	+1.0	やや高め
11月	20.9	+0.2	平年並み
12月	観測なし		

《漁模様 2024年1月から12月まで》

【定置網漁業】

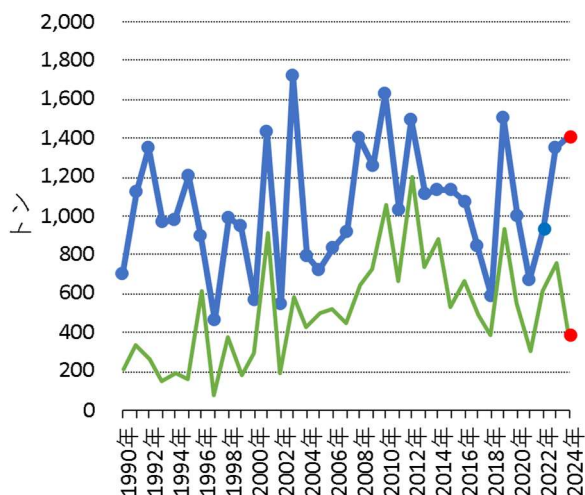
マイワシが平年の2.2倍（前年の1.2倍）、ヒラマサが平年の1.5倍（前年の6.4倍）と好調、ブリが平年の1.4倍（前年並み）と前年に引き続き好調であったが、カタクチイワシは平年の5割弱（前年の1.2倍）と前年を上回ったものの低調であった。全体では、前年・平年並みであった。

年間漁獲量（上位10魚種）（トン） 京都府漁協集計				
魚種	2024年	2023年(前年比)	平年(平年比)	備考
マイワシ	2277.1	1846.7 (123%)	1032.0 (221%)	<サワラ銘柄別> さわら大(3kg以上): 62.4トン さわら(2-3kg): 82.1トン さわら中小(1.5-2kg): 134.8トン さわら小(1-1.5kg): 200.0トン さごし(0.4-1kg): 398.6トン やなぎ(0.4kg未満): 117.9トン <ブリ銘柄別> ぶり: 944.3トン まるご: 6.7トン はまち: 70.6トン つばす: 387.8トン <イカ類> アオリイカ(秋いか): 72.7トン ケンサキイカ(白いか): 31.8トン ヤリイカ(冬いか): 15.3トン スルメイカ: 3.8トン ソデイカ(たるいか): 4.8トン など
ブリ	1409.4	1346.3 (105%)	1035.3 (136%)	
カタクチ等 (他魚混ぜり込み)	1001.0	840.1 (119%)	2088.8 (48%)	
サワラ	995.7	1249.7 (80%)	1472.4 (68%)	
サバ類	532.2	533.7 (100%)	344.1 (155%)	
シイラ	466.4	561.0 (83%)	261.0 (179%)	
マアジ	432.3	455.0 (95%)	713.5 (61%)	
イカ類	142.7	234.4 (61%)	263.8 (54%)	
ヒラマサ	126.0	19.8 (636%)	85.9 (147%)	
スズキ	113.3	141.6 (80%)	159.5 (71%)	
その他	967.3	1117.4 (87%)	1121.7 (86%)	
合計	8463.4	8345.5 (101%)	8578.0 (99%)	

※平年：2014-2023年

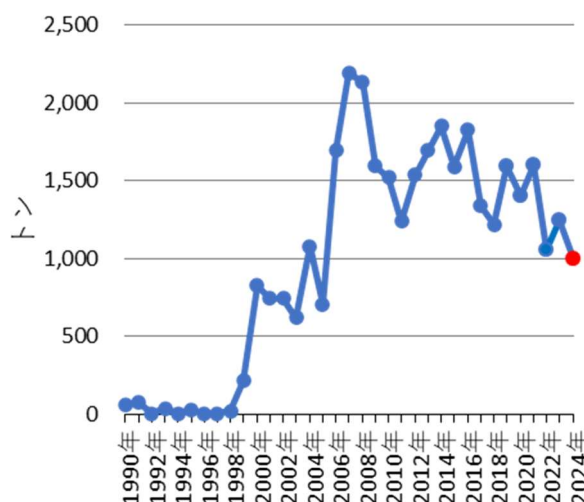
<主要魚種の漁獲量経年変化>

ブリ（緑線はつばす銘柄）



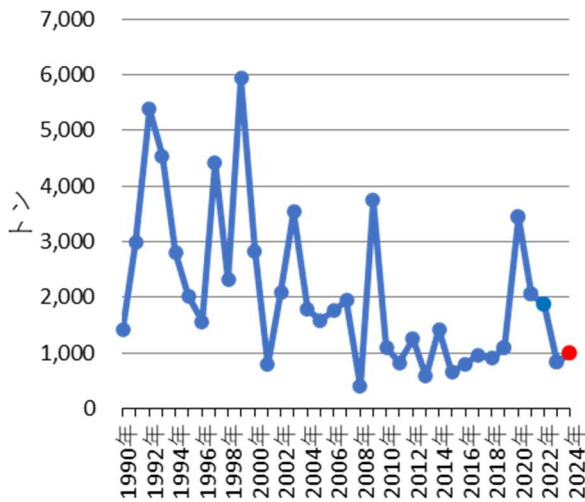
前年・平年を上回り、好調でした。

サワラ



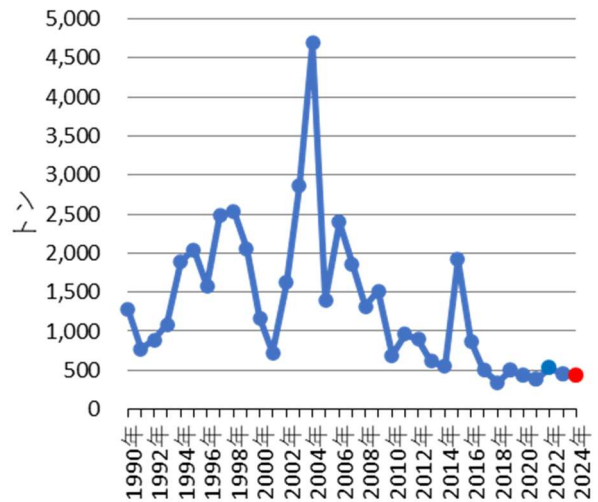
漁獲量は2000年代に急増しましたが、近年は減少傾向です。今年は前年・平年を下回り、2006年以降では最低の漁獲量でした。

カタクチ等(他魚混ぜり込み)



平年を下回りました。(ただし、混じって水揚げされたカタクチイワシ以外の小魚も含めています)

マアジ



漁獲量は2004年以降減少しており、前年・平年を下回りました。

【底曳網漁業】

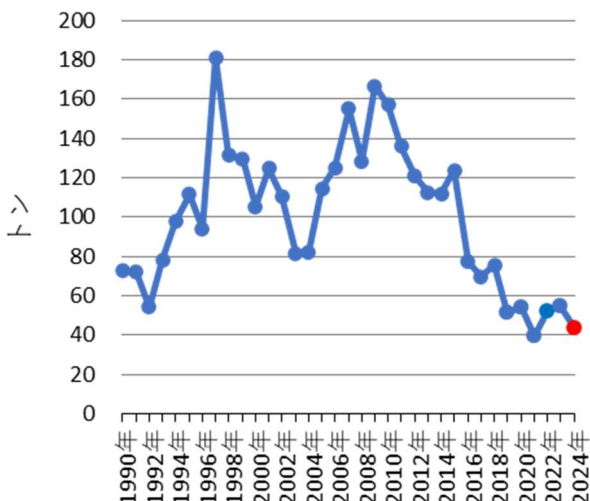
全体の水揚量は、平年の8割弱（前年並み）であった。

年間漁獲量（上位5魚種）（トン） 京都府漁協集計				
魚種	2024年	2023年(前年比)	平年(平年比)	備考
ニギス(沖ぎす)	119.6	127.9 (93%)	125.5 (95%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい):43.3トン ソウハチ(えてがれい):25.9トン ヒレグロ(くろがれい):3.4トン ムシガレイ(みずがれい):1.4トン ヤナギムシガレイ(ささがれい):1.0トン
カレイ類	75.4	75.3 (100%)	110.3 (68%)	
ズワイガニ	59.3	54.8 (108%)	62.7 (95%)	
ハタハタ	8.8	0.2 (3830%)	23.2 (38%)	
タイ類	7.9	8.5 (93%)	16.4 (48%)	
その他	34.0	44.0 (77%)	69.4 (49%)	<ズワイガニ> 雄:36.8トン、雌:22.5トン <タイ類> キダイ(連子鯛):6.0トン マダイ:1.4トン など
合計	305.0	310.7 (98%)	407.4 (75%)	

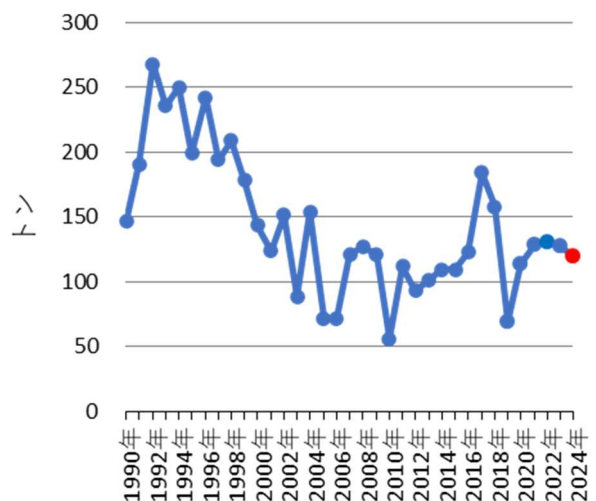
※平年：2014－2023年

<主要魚種の漁獲量経年変化>

アカガレイ（底曳網）



ニギス（底曳網）



【釣り・はえなわ漁業】

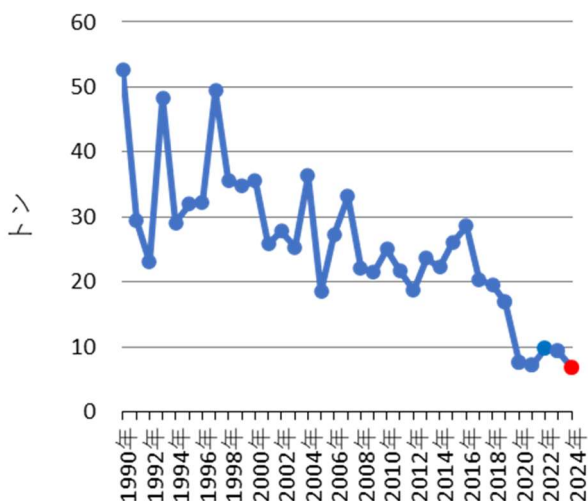
全体の水揚量は、平年の6割弱（前年8割強）であった。

年間漁獲量（上位5魚種）（トン） 京都府漁協集計					
魚種	2024年	2023年(前年比)	平年(平年比)		備考
タイ類	21.8	27.9 (78%)	31.1	(70%)	<タイ類> キダイ(連子鯛): 14.6トン マダイ: 6.8トン など
イカ類	20.3	22.0 (92%)	36.8	(55%)	
サワラ	10.7	6.9 (155%)	15.1	(71%)	<イカ類> スルメイカ: 10.7トン ソデイカ(たるいか): 4.3トン ケンサキイカ(白いか): 1.0トン アオリイカ(秋いか): 2.5トン など
メバル類	9.1	10.7 (84%)	12.8	(71%)	
アカアマダイ(ぐじ)	7.7	8.7 (89%)	16.1	(48%)	
その他	34.7	48.5 (72%)	76.7	(45%)	
合計	104.3	124.6 (84%)	188.6	(55%)	

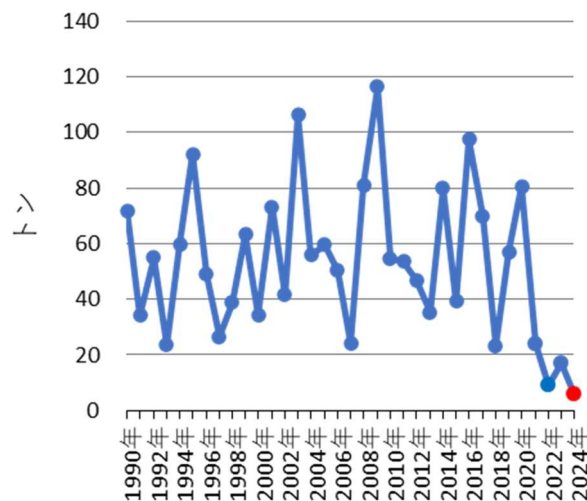
※平年：2014－2023年

<主要魚種の漁獲量経年変化>

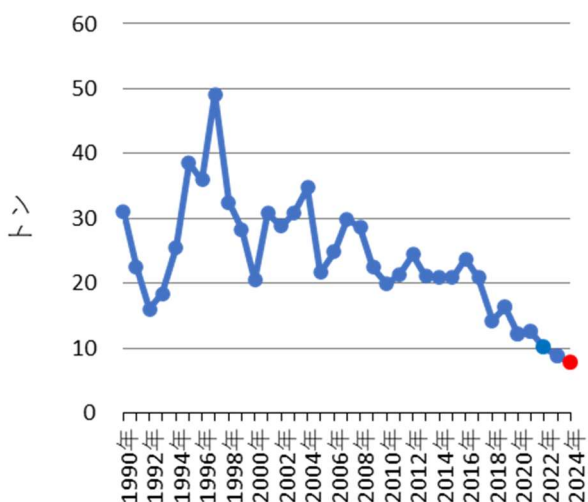
マダイ（釣り・延縄）








ブリ（釣り・延縄）




アカアマダイ（釣り・延縄）



◆2024年に皆様から提供いただいた珍しい魚

<p>ショウサイフグ×ゴマフグの交雑種 の可能性のある個体</p>	<p>カワビシヤ</p>
<p>5月7日 舞鶴漁協より 約36cm</p>  <p>臀鰭が黄色であり(ショウサイフグ)、腹側に小棘(ゴマフグ)といった特徴から交雑種の疑いあり。</p>	<p>5月24日 不明</p>  <p>日本海では新潟県沖から九州北西岸に分布。喉の奥に貝をすり潰すためと思われる歯を持つ。</p>
<p>ミナミイケカツオ</p>	<p>ゴマモンガラ</p>
<p>10月23日 栗田生産小田事業所より 約17cm</p>  <p>日本近海では主に南日本に分布。青味がかかった銀白色の体側に並ぶ1列の暗色斑点が特徴です。</p>	<p>11月12日 成生水産事業所より 約42cm</p>  <p>日本海沿岸では、新潟県から長崎県にかけて分布。非常に鋭い歯、硬い鱗を持つ。</p>
<p>メイタイシガキフグ</p>	<p>ヒラサワラ</p>
<p>12月4日 栗田生産小田事業所より 約11cm</p>  <p>日本海側では佐渡島、能登半島、兵庫県浜坂、山口県に分布。棘は不動性、尾柄部背方には棘がない。</p>	<p>12月25日 舞鶴市場 約34cm</p>  <p>日本近海では、主に南日本に分布。最大で1.5mに達する。サワラより体高が高く、側偏している。</p>

 見慣れない海の生き物を発見された場合には、ぜひ当所までご一報ください。